

平成19年上島町議会第3回定例会が9月26日に招集され、「平成18年度上島町一般会計歳入歳出決算認定について」など35議案が審議され、可決されました。

この日の本会議では、はじめに上村町長から諸般の行政報告があり、一般質問の後、20議案の審議が行われ、休会に入りました。

27日に再開された継続本会議では、15議案が審議され、第3回定例会は閉会しました。

なお、上村町長の諸般の行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

## 上村町長

### 諸般の行政報告

秋祭りを迎える心地よい慌ただしさと共に、我がふるさと「上島町」も、豊穡の季節になってまいりました。本日は平成19年第3回の定例議会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきました誠にありがとうございます。

はじめに、一連の報道でご迷惑をおかけしました、町長旅費の取り扱

いや下水道使用料徴収の件において、町民の皆様にご迷惑をおかけしたことに對し、心からお詫びを申し上げます。

政治と行政に対する不安を招いたことについて、深く反省をすると共に、今後は今まで以上に自らを律することで、厳正な町政運営に努めたいと考えております。

さて、6月定例議会後の行政報告として、7月5日「平成20年度離島振興予算陳情」を国土交通省、総務省、農林水産省、内閣府、財務省、環境省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省等に対し行いました。

主な内容は

- ◎ 離島振興計画の改訂と海洋基本法の策定について
- ◎ 離島振興関係事業の促進について
- ◎ 離島航路の整備強化について
- ◎ 離島市町村の財政力強化について
- ◎ 離島における高度情報化の推進について
- ◎ 離島医療の改善について

以下13項目にわたっており、この項目をさらに細分化した具体的な要望です。

また、7月22日から25日までの4日間、高井神島・魚島・津波島・弓削島の4島を巡る「離島体験交流活動（子どもミニ島体験キャンプ）」を実施いたしました。この事業は、都会と地元の子どもが、上島の自然環境に触れ合う中で、地域の方との交流や仲間同士での助け合いなど、

自立した精神を養うことを目的とし上島町から7名、大阪・神戸・広島など町外から12名、総勢19名で、小学校1年生から中学校3年までの幅広い年齢層が参加しました。各島では地元の方に参加協力をいただき、島の特徴を生かし、温かい人情と触れ合う体験キャンプとなりました。

8月2日に開催された「えひめトップミーティング」においては、県政の重要課題である「団塊の世代の誘致に向けた取組み」や地域課題である「障害者の地域生活支援」などについて知事と意見交換を行いました。

8月11日から13日には上島町の少子化対策と定住促進及び観光振興のため、そして上島町を広く全国に情報発信する目的で「まるごと体験ツアーinかみじま」を実施しました。参加者は地元の男性14名と京都府・大阪府・岡山県など全国から10名の女性が参加。今回の主たる目的である島への定住は、参加者同士に委ねられますが、男女が交流する機会、つくりと上島町の宣伝には効果があったものと考えています。

また、8月上旬から8月中旬にかけては、各地域での夏休みを利用した帰省客との各種交流イベントが催され、特にふるさと夜市での1200発の花火が、上島町民のもてなしの気持ちの表れとして今でも心に焼き付いています。

8月21日には、「上島架橋要望活動」を愛媛県今治地方局、愛媛県、

四国地方整備局の担当課・担当部長に對して行いました。上島架橋促進協議会を代表して2名の副会長と共に陳情しましたが、昨年より具体的で現実的な回答をいただき、後は愛媛県の財政構造改革の結果に期待を寄せるのみと考えています。

9月9日には「上島町総合防災訓練」を開催し、上島町民、自主防災組織、消防団はもとより陸上自衛隊第14特化隊第2中隊、陸上自衛隊中部方面航空隊、海上自衛隊呉地方総監部、愛媛県、愛媛県消防防炎航空隊、愛媛県警、弓削商船高等専門学校などの参加協力をいただきました。大規模で各機関を統一する訓練は、上島町以外の防災体制の再確認となり、更なる安心の証となりました。今後は関係各機関との連携を向上させることと共に、自主防災組織を中心としたコミュニティ防災活動を強化して行かなければならないと考えています。

その他では例年の行事として、9月2日の岩城地区を皮切りに各地域敬老会においてお年寄りへの感謝と長寿をお祝いし、9月17日と9月22日には各地区運動会を秋晴れの下行いました。

9月20日と21日には、議会陳情に同席させていただきました、愛媛県選挙区選出の国会議員並びに関係各省市に對し、「上島架橋の推進」、「離島航路の充実」、「立石港周辺整備の推進」、「地上デジタル放送に係る支援」

について、予算を含めた要望を行い、また愛媛県へき地教育振興会会長として文部科学省に対し、へき地の等級見直し、そして上島架橋促進協議会を代表し、上島町の現状や生名橋の早期完成と岩城橋の早期着手、さらには基幹道路への連結について説明と陳情を行い「上島を一つに」という町民の願いを伝えてまいりました。

さて、来年度予算については、昨日福田康夫新総理大臣が誕生し、新しい内閣が動き始めたばかりですが、昨9月26日に第90代首相に選出された安倍晋三氏の突然の辞任は、驚きと共に地方と都会の格差是正と予算編成の遅れに繋がらないかと今でも憂慮しています。

この状況は細川内閣以来14年ぶりの「越年予算」になる可能性もあり、国会や政府、与党の動きがしばらく止まり、首相の交代で財政運営の方針が変わることも有り得ます。

しかし、上島町としては「骨太の方針」が国家予算の骨格であり、シーリングの枠内で政策が進んでいくことを前提に、粛々と行財政運営に取り組んでまいります。

来年度の上島町予算の指針となる国の予算編成の流れは、6月19日に政府が「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2007（骨太の方針2007）」を正式決定し、8月10日には、2008年度予算の大枠となる概算要求基準（シーリング）

が閣議了解され、各省庁は基準に従って8月末までに予算要求を提出することになりました。

政策の実行に充てる一般歳出の上限は前年度並みに厳しく抑制され47兆2800億円でありこの上限は2007年度当初予算46兆9784億円を3000億円上回るものです。

8月31日、財務省は2008年度予算の各省庁からの「概算要求」を締め切り、一般会計の概算要求総額は2007年度当初予算比約2兆8000億円（34%）増の約85兆6900億円となりました。

一般会計の概算要求額のうち、各省庁の政策実行の経費となる一般歳出は2007年度当初予算に比べ約3000億円増の約47兆2640億円となりました。今回は地域活性化などのために新たに「重点施策推進要望枠」として4.5%分、6000億円の上乗せが認められたことが影響しており、施策の内容を見ても各省庁は強気に要求しています。その他都市部に税収が偏っている地方法人二税のうち、1兆円程度を都市部から地方の道府県へ再配分することが検討されており、年末の予算編成では改革の果実である「歳出削減」と、地域格差の是正となる「地方配慮」の二兎を追うことになりそうです。

また、7月の参議院選挙で与党が歴史的惨敗を喫した原因の一つに「地方の反乱と呼ぶべき猛烈な反発」が挙げられていますが、上島町の財

源に直接の影響を与える地方交付税交付金は、出口ベースで景気回復による地方税収の増加が見込める為、2007年度予算に比べ約6000億円（4.2%）減の14兆6000億円となっております。

7月31日には、愛媛県と20市町に普通交付税と臨時財政対策債発行可能額、地方特例交付金の19年度の額が決定され、普通交付税は愛媛県分として1685億4464万7千円（対前年度比45億9545万2千円減）、市町分は1282億4682万7千円（対前年度比28億8525万1千円減）となり、前年度より軒並み減額される結果となりました。

なお、上島町分の普通交付税は、27億7000万9千円（対前年度比4852万6千円増）。臨時財政対策債発行可能額2億784万2千円（対前年度比2125万2千円減）となっております。

今年度は基準財政重要額の一部について、人口と面積を基本に簡素化した算定方法（新型交付税）を導入し、離島や過疎地に対しての厚い保護があるものの、今後身身の丈にあった支出を計画的に行うために、町民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、「坂の上の雲」で有名な愛媛の秋山真之が正岡子規との会話の中で、「たとえば軍艦というものは一度遠洋航海に出て帰ってくると、船底に牡蠣殻がいっぱいくっついて

船足がうんとおちる。人間も同じで、経験は必要じゃが、経験によってふえる知恵と同じ分量だけの牡蠣殻が頭につく。知恵だけ採って牡蠣殻を捨てるということは人間にとって大切なことじゃ。このことを知らない者は、海軍とはこう、艦隊とはこう、作戦とはこう、という固定観念（かき）が、ついていて。おそろしいのは固定観念そのものでなく、固定観念がついていることを知らず平気で司令室や艦長室のやわらかいイスにどつかとすわりこんでいることじゃ」という言葉を残しています。

上島町が合併して早3年。私自身にも上島町行政にも牡蠣殻がついていないか今一度見直し、初心に帰って固定観念にとらわれない行政運営に努め、次の段階に備えたいと考えております。

## 各議案の主な内容及び議決結果

### 平成18年度決算

■平成18年度上島町一般会計・特別会計（16会計）及び上水道事業会計歳入歳出決算認定について《18議案》

各会計の決算額は、次表のとおりです。一般会計の詳しい決算状況は6ページに掲載しています

— 認定 —

# 平成18年度 上島町会計別決算額

会 計 別	歳入歳出予算額(円)	歳 入 (円)	歳 出 (円)	歳入歳出差引額(円)	
一 般 会 計	7,541,957,000	6,930,910,882	6,700,417,242	230,493,640	
特 別 会 計	国民健康保険	1,230,000,000	1,220,463,009	1,202,082,327	18,380,682
	船 舶	234,700,000	231,036,794	227,226,503	3,810,291
	老 人 保 健	1,440,200,000	1,377,010,042	1,370,229,295	6,780,747
	住宅新築資金等貸付	2,300,000	2,325,570	2,032,052	293,518
	ふ 頭 用 地	5,200,000	5,264,548	5,177,363	87,185
	公 共 下 水 道	917,000,000	838,672,852	834,243,868	4,428,984
	C A T V	69,700,000	66,172,142	61,087,961	5,084,181
	農 業 集 落 排 水	79,800,000	76,936,743	76,123,804	812,939
	介 護 保 険	592,000,000	579,795,508	568,091,947	11,703,561
	介 護 サ ー ビ ス	76,200,000	74,596,692	72,854,329	1,742,363
	浄 化 槽	56,000,000	43,860,832	43,303,541	557,291
	国民健康保険診療所	57,500,000	54,037,776	53,343,539	694,237
	へき地出張診療所	5,400,000	10,560,543	4,014,676	6,545,867
	簡 易 水 道	30,100,000	29,702,936	29,382,783	320,153
	特別養護老人ホーム	235,000,000	244,844,131	219,721,240	25,122,891
	コミュニティプラント	21,900,000	21,196,620	21,196,620	0
上水道事業会計 (公営企業会計)	213,600,000 (予算額は税込み)	226,681,357 (税処理後217,118,364)	210,283,617 (税処理後200,724,787)	16,393,577 (消費税処理後)	

## 条 例 議 案

■上島町放置自動車の処理に関する  
条例

放置自動車を適正かつ円滑に処理し、もって町民の安全で快適な生活環境保全及び地域の良好な景観維持を図るため、関係条例を整備したものを。  
— 原案可決 —

■上島町営住宅条例の一部を改正する  
条例

公営住宅における暴力団員による不当行為が全国的に多数発生している状況を踏まえ、入居者等の生活の安全と平穏、公営住宅制度への信頼確保等のため、関係条例を整備したものを。  
— 原案可決 —

## 補正予算議案

■平成19年度上島町一般会計・特別会計(5会計)補正予算《5議案》

■一般会計

【補正額】1億850万円

【総額】73億3210万円

■特別会計(4会計)

国民健康 保 険	補正額	4400万円
	総 額	11億9440万円
C A T V	補正額	260万円
	総 額	7890万円
介護保険	補正額	5530万円
	総 額	6億1330万円
特別養護 老人ホーム	補正額	科目変更のみ
	総 額	2億2770万円

— 原案可決 —

## そ の 他 議 案

■新たに生じた土地の確認について  
■字の変更について

公有水面の埋立てにより、新たに生じた土地を確認し、上島町弓削の区域に編入したものを。

土 地 の 所 在	字	面積(㎡)
上島町弓削土生1、3の1から6まで、80の1、80の2、82、83、85から87まで及び105並びに弓削太田190の1から192の地先	弓削土生	961.96
上島町弓削太田58、99、100の2、101、103、104の3、105、107、108、110及び188の地先	弓削太田	505.41
上島町弓削下弓削121の6、209及び839の1の地先	弓削下弓削	2,066.28

— 可 決 —

■物品売買契約の締結について

●消防ポンプ自動車購入

【契約方法】指名競争入札

【契約金額】2771万4432円

【契約の相手方】

松山市大手町1丁目10番地1

株式会社 岩本商会

代表取締役 仙波 誉子

■固定資産評価審査委員会委員の選任について

【住所】 上島町弓削下弓削524番地

【氏名】 濱村 隆

【生年月日】 昭和12年3月14日

不同意

【住所】 上島町生名1986番地

【氏名】 檜垣 利生

【生年月日】 昭和27年10月13日

同意

【住所】 上島町岩城1400番地

【氏名】 中濱 信之

【生年月日】 昭和18年9月10日

同意

【住所】 上島町魚島1番耕地190番地

【氏名】 関戸 勝由

【生年月日】 昭和12年10月6日

同意

■教育委員会委員の任命について

【住所】 上島町岩城3162番地2

【氏名】 岡野 英二

【生年月日】 昭和17年1月30日

同意

【住所】 上島町弓削引野295番地

【氏名】 小澤 宏次

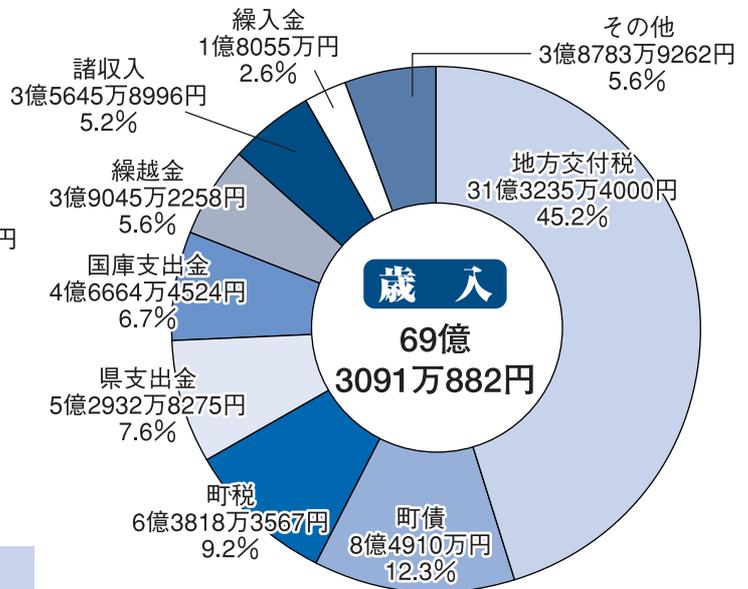
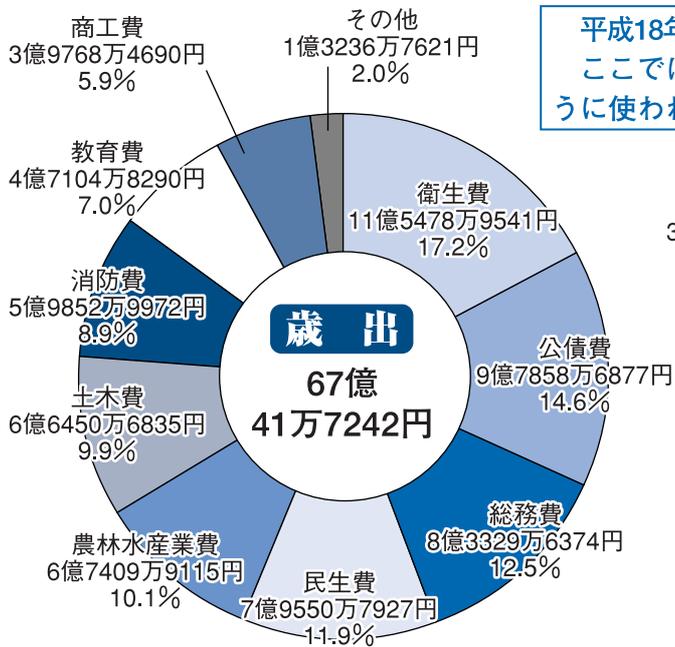
【生年月日】 昭和17年3月11日

同意

同意

平成18年度上島町一般会計決算報告 **これが上島町の家計簿です**

平成18年度の各会計決算は、9月定例議会で全て認定されました。ここでは、私たちは納めた税金や国・県等からのお金がどのように使われたのか、一般会計の詳細をお知らせします。



《歳出 その他の内訳》

議会費	81,611,771円
災害復旧費	23,440,850円
諸支出金	27,315,000円

《歳出 特別会計への繰出金》

〈総務〉CATV事業会計	41,000,000円
〈民生〉国民健康保険事業会計	86,000,000円
〈民生〉老人保健事業会計	107,000,000円
〈民生〉介護保険事業会計	101,000,000円
〈民生〉介護サービス事業会計	24,902,962円
〈民生〉特別養護老人ホーム事業会計	109,262円
〈衛生〉公共下水道事業会計	393,500,000円
〈衛生〉浄化槽事業会計	14,500,000円
〈衛生〉農業集落排水事業会計	64,700,000円
〈衛生〉コミュニティプラント事業会計	17,178,009円
〈衛生〉上水道事業会計	24,876,000円
〈衛生〉簡易水道事業会計	23,600,000円
〈衛生〉国保診療所事業会計	20,000,000円
〈土木〉ふ頭用地事業会計	2,650,000円
〈諸支出金〉船舶事業会計	25,000,000円

《歳入 その他の内訳》

地方譲与税	95,317,784円
利子割交付金	3,199,000円
配当割交付金	2,622,000円
株式等譲渡所得割交付金	2,323,000円
地方消費税交付金	65,761,000円
自動車取得税交付金	15,858,000円
地方特例交付金	16,688,000円
分担金及び負担金	73,517,002円
使用料及び手数料	99,843,568円
財産収入	10,570,908円
寄付金	1,530,000円
交通安全対策特別交付金	609,000円

《歳入 町税の内訳》

町民税	302,032,454円
固定資産税	282,341,029円
軽自動車税	16,285,000円
市町村たばこ税	37,525,084円